



FAG

SERVICE INFO



取り付け方向の順守 受動エンコーダ付き車輪軸受

メーカー： BMW、メルセデス・ベンツ

型式： 3 (E36、E46、E90、E91、E92)
5 (E60、E61)
7 (E38)
8 (E31)
X3 (E83)
X5 (E53)
Z3 (E36)
Z8 (E52)
E クラス (S124、W124)

部品番号： 713 6492 80
713 6674 80
713 6677 90

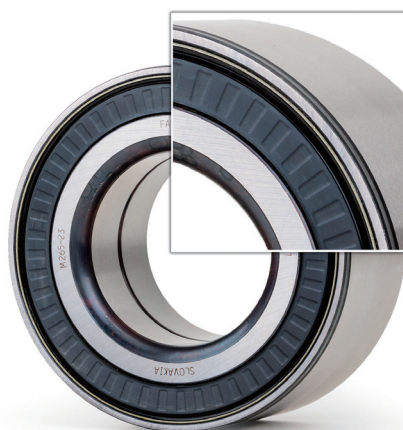


図 2：シール内のセグメント

多くの場合、車輪速度を記録するため、角変換器、いわゆる「エンコーダ」が使用されています。そのため、エンコーダホイールは車輪軸受のシール内にあります。

修理時に軸受が正しく取り付けられるようにするには、最初にセンサーリングがどちら側にあるか確認する必要があります。

能動的な速度記録システムの場合、エンコーダカードを使用してすばやく簡単に確認できます (図 1)。



図 1：エンコーダカードの使用による、多極エンコーダの取り付け側の確認。受動エンコーダではこの方法は使用できません。

一方、上記の車輪軸受キットの車輪軸受では、受動角変換器、別名インクリメントリングが使用されています。これらのエンコーダは、エンコーダカードでは確認できません。関連するセグメントは、シールのくぼみで分かります (図 2)。また、この側を内側、すなわちセンサー方向に取り付ける必要があります。

注意：

適切なセンサーと組み合わせた能動エンコーダ、別名多極エンコーダは、わずかな回転運動でも、正確な速度信号を配信します。自動車では、能動エンコーダは、速度信号を配信するだけでなく、方向を指し示すため、CAN バスシステムと一緒に使用されます。この信号は、ABS、ESP、ナビゲーション、牽引制御など、さまざまな運転者支援システムで使用されています。一方、受動トランスミッタが配信する信号は、ABS でのみ処理できます。

自動車メーカーの仕様を順守してください！